

## 仙台厚生病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

通常の診療で得られた過去の診療情報や残存検体等を使用して行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得る代わりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開する事が必要とされています。また、研究結果を学会等で発表する事がありますが、個人を特定する情報は公開されません。

研究課題名	バルーン拡張型人工弁を用いた経皮的動脈弁植え込み術におけるバルーン容量と人工弁の直径ならびに有効弁口面積の関係の研究
当院の診療科・研究責任者	循環器内科 多田 憲生
他の研究機関	なし
本研究の目的	SAPIEN3を用いた経皮的動脈弁植え込み術において、バルーン容量の変更が人工弁の直径と有効弁口面積に与える影響を評価し、バルーン容量を患者ごとに変更する治療戦略の有効性ならびに安全性を評価することです。
研究期間	2017年3月1日～2019年12月31日
研究の方法（対象となる方）	2017年3月1日～2019年12月31日の期間中にSAPIEN3を用いた経皮的動脈弁植え込み術を行った患者さんです。
研究の方法（利用する情報）	バルーン容量と人工弁の直径、人工弁の直径と有効弁口面積の関係を後ろ向きに検討します。また、本期間中の術後成績についても併せて評価します。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除致します。 (利用する情報に個人を特定する情報は一切含まれておりません。) 研究結果を学会等で発表する可能性がございますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用致しません。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	研究への利用を拒否する場合等の連絡先 【電話】 022-222-6181 【担当者】 循環器内科 科長 多田憲生
備考	